

令和5年度 事業 ピックアップ

施設予約システム更新事業

決算額1,104万円

検索機能の強化など利用者の利便性を向上させるため、市立公民館、市立コミュニティセンター、社会教育センター、SAYAKA ホールの施設予約システムを更新しました。



DX推進計画策定事業

決算額120万円

DX(デジタルトランスフォーメーション)推進に対する基本的な考え方や個別の取り組みなどを示した大阪狭山市DX推進方針を令和6年3月に策定しました。この方針に基づき、引き続き国と歩調を合わせてデジタル化の取り組みを推進し、一層の事務効率化とさらなる市民サービスの向上につなげていきます。



公共施設等総合管理計画推進事業

決算額566万円

利用者のニーズに適切に対応し、効率的・効果的な公共サービスの提供の実現に向け、令和14年度までの公共施設の更新、複合化や集約などの対策内容や実施時期などを第1期計画として具体的に示すため、大阪狭山市公共施設再配置計画策定委員会を立ち上げ、議論を行いました。また、その基礎資料として今熊地区で地質・地盤調査を行いました。



特定小型原動機付自転車(電動キックボードなど)のナンバープレート作成事業

決算額30万円

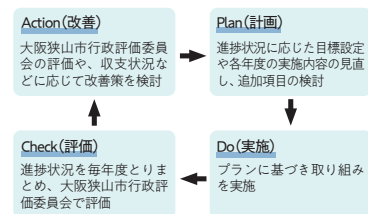
道路交通法の改正に伴い、一定の要件を満たす電動キックボードなどに対応する車両区分として「特定小型原動機付自転車」が新設されたことから、令和5年7月1日から標識(ナンバープレート)の交付を開始しました。



行財政改革推進事業

決算額0円

大阪狭山市行財政改革推進プラン2020に基づき、行財政改革にかかる取り組みを推進しました。また、大阪狭山市行政評価委員会を開催し、進捗状況に対する評価や意見をいただきました。



生殖補助医療費等助成事業

決算額334万円

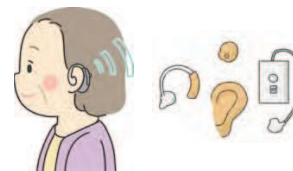
不妊治療にかかる費用負担の軽減を図るため、保険適用された後の生殖補助医療費の自己負担額の一部をはじめ、生殖補助医療と併せて実施される先進医療にかかる費用の一部を助成し、不妊に悩む人を支援しました。



高齢者補聴器購入費用助成事業

決算額8万円

加齢性難聴による閉じこもりを予防し、高齢者の積極的な社会参加および地域交流を促進するため、65歳以上の個人市・府民税非課税世帯で、医師から補聴器が必要と認められた人が、管理医療機器として認定された補聴器を購入する費用の一部を助成しました。



都市緑化を活用した猛暑対策事業

決算額1,367万円

「大阪府都市緑化を活用した猛暑対策事業」の補助金を活用し、市循環バス停留所「福祉センター前」上屋に、微細ミスト発生装置を新設し、乗客の熱中症対策を行いました。



第4期男女共同参画推進プラン策定事業

決算額276万円

ジェンダー平等を推進し、多様な働き方を広げ、だれもがいきいきと安心して暮らせるまち、互いに人権を尊重し責任を分かち合い、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現をめざし、令和6年度から10年間の第4期男女共同参画推進プランを策定しました。



小学校整備事業

決算額1億4,189万円

学級編制基準の一律引き下げによる段階的な35人学級への移行や校区内の宅地開発による人口増加に伴う、北小学校の普通教室不足に対応するため、校舎の増築工事(1階建て3教室)や備品の購入を行いました。



地域学校協働活動事業

決算額277万円

市内の5つの小学校に地域学校協働活動推進員を配置し、米づくり体験や防災キャンプなどの地域学習のコーディネート、登下校の見守り活動、学校の環境整備などの学校支援活動の活性化に取り組みしました。令和6年度は市内の全小学校に地域学校協働活動推進員を配置します。

